

第 33 期 事業報告

〔 自 2021 年 4 月 1 日
至 2022 年 3 月 31 日 〕

株式会社NHKエデュケーショナル

I 会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及びその成果

(1) 当社を取りまく環境と成果

「学びの新しいカタチの創出」を掲げた中期経営計画 2021-2023 の初年度、NHK エデュケーショナル(以下 NED)は、インターネットをプラットフォームにしたコンテンツ提供の拡大やコロナ禍で広がる教育格差などの時代状況に対応するとともに、NHK が打ち出した「新しい NHK らしさの追求」と「スリムで強靱な新しい NHK」というコンセプトの実現に貢献するため、様々な取り組みを展開しました。

学校教育の分野では、文部科学省の「GIGA スクール構想」に対応したサービスの拡充に努めました。小学校や中学校でひとり一台のモバイル端末が普及する中、低学年の児童が端末操作を楽しく学べるゲーム教材の開発や、教師が端末を利用した授業プランを作成し易くするための支援コンテンツ「GIGA サポ 考える授業 やるキット」の制作を推進しました。あわせて学校放送番組を活用した新番組を制作し、「NHK for School」の家庭や一般での認知度の向上を図りました。

また、人生 100 年時代の全世代に向けた学びの新たなプラットフォームとして NHK が 2022 年 4 月にスタートさせる「NHK ラーニング」のサイト構築を受託し、「新しい NHK らしさ」の推進に貢献しました。

東京と北京で開催されたオリンピック・パラリンピックでは、社内のグループが連携して、障害の有無やジェンダー、年齢に関係なく感動を味わえるユニバーサル放送番組を制作しました。「ぴったり字幕」や「手話ワイプ映像」、「手話 CG」など新たな演出に、NHK グループの横連携(NED・NHK グローバルメディアサービス・NHK 放送技術研究所)で取り組み、共に生きる社会への意識の高まりに寄与することを目指しました。

自主事業の売上回復にも取り組みました。SDGs や教育 CSR に取り組む企業と学校の授業をつなぐ事業、コロナ禍でもオンラインで海外の大学と結んで留学体験を提供する事業、スポーツ競技団体など新たな教材提供先の開拓など、「学びの新しいカタチ」を意識した新規事業を推し進めました。

「おかあさんといっしょスペシャルステージ」がコロナ禍のため中止を余儀なくされるなど、リアル・イベント の中止が頻発する中でも、それを補完する事業のひとつとして、オンライン・イベントの開発にも力を入れ、教育に加え、趣味や教養の分野でも、Instagram や Zoom を使ったイベントを実施し、スキルとノウハウの蓄積を図るとともに、「学び」の満足度の向上を目指しました。

また、デジタル関連では VOD 事業の売上げが過去最高となり、映像制作・権料収入、VOD 原盤提供などいずれも計画値を上回りました。その結果、売上げを前期比で 5 億円増となる 34 億円(決算速報値)まで回復させることができました。

一方、「スリムで強靱な NHK」の実現に寄与するため、変化に迅速に対応できる「しなやかで芯の強い会社」への進化を目指して、体制の見直しを図りました。

7月には会社創立以来となる大規模な組織改正を実施。役員体制を大幅に見直し、経営層をスリム化して人件費を削減するとともに、コンパクトな指揮命令系統と責任体制を実現しました。

さらに、NED が持つ専門性を掛け合わせた“クロスジャンル”での新たなコンテンツの開発やインハウスの制作力の強化のために、社内連携がとりやすいグループ・フォーメーションに変えるとともに、放送波の整理やジャンル管理による委託費の減少にも柔軟に対応できるよう、事業規模に応じて要員規模と体制の見直しを臨機応変に行えるスキームを構築しました。

人材育成でも様々な取り組みを行いました。入社1～2年の新人から、5～10年の若手・中堅まで、対象に合わせた社内連携による「独自社員育成プラン」を作成し、NHK での実地研修や関連団体各社と連携した合同研修に加え、企画・提案や制作力強化をサポートする NED 独自の仕組みを考案し、多層的な育成のスキームを構築しました。

こうした取り組みによって、第 33 期の業績は、事業計画を上回ることができました。事業計画では、定時番組の削減等による NHK 関係業務の縮小で、売上高 212 億円、当期純利益 61 百万円を見込んでいましたが、決算では売上高 213 億 71 百万円、当期純利益 2 億 26 百万円と「増収・増益」となりました。

(2) 損益の状況

当期の売上高は、213 億 71 百万円となり、前期比 3.2%減、6 億 98 百万円の減収となりました。

売上原価は、199 億 19 百万円となり、前期比 1.1%減、2 億 26 百万円の減となりました。販売費及び一般管理費は、12 億 69 百万円でした。

損益については、営業利益 1 億 82 百万円、前期比 71.2%減、4 億 50 百万円の減益となりました。

営業外損益を加えた経常利益は、3 億 54 百万円で、前期比 48.8%減、3 億 37 百万円の減益となり、これに特別損益及び法人税等を加減した当期純利益は、2 億 26 百万円、前期比 50.1%減、2 億 27 百万円の減益となりました。

(3) 事業別の概況

【事業別売上高】

(単位:百万円)

区分	第 33 期 (2021.4.1～2022.3.31)		第 32 期 (2020.4.1～2021.3.31)		増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
NHK 関係業務	17,955	84.0%	19,167	86.8%	△1,212	△6.3%	
自主事業	3,416	16.0%	2,902	13.2%	514	17.7%	
内訳	コンテンツ制作	803	3.7%	545	2.5%	258	47.4%
	イベント実施	452	2.1%	328	1.5%	124	38.0%
	印税・権料ほか	747	3.5%	735	3.3%	12	1.7%
	放大等受託事業	588	2.8%	505	2.3%	82	16.4%
	デジタル関連	824	3.9%	788	3.6%	35	4.6%
計	21,371	100.0%	22,069	100.0%	△698	△3.2%	

※金額については、単位未満を切り捨てて表示

【NHK 関係業務】

NHK 関係業務では、定時番組等の減少により 179 億 55 百万円となり、前期の売上高と比較しますと、12 億 12 百万円減(6.3%)の減収となりました。

<“クロスジャンル”・社内連携・人材育成の主な成果>

性教育をベースにした幼児向けの“じぶん探求”番組「アイラブミー」、プラネタリウムでの公開収録番組「ニャンちゅうの宇宙に夢チュー!」、連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」と連動した「ラジオで!カムカムエヴリバディ」など、専門性を掛け合わせた、新しい発想の番組を制作しました。

多層的な育成スキームの成果の一つとして、入社 2、3 年の独自社員による企画・提案として、お坊さんの説法を通して生きる知恵を学ぶ「10 人のお坊さん」、発酵文化を旅する「発酵大国につぼん」実験と妄想のバラエティー「半分だけで考えてみた!」を制作しました。

<開発番組など>

これまで培ってきた専門性をベースに多くの番組を開発しました。

育児に奮闘するパパの様子を、ママと専門家が一緒にモニタリングする「ハロー!ちびっこモンスター」、自由気ままなネコの目線で名画の謎を紹介する「ねこのめ美じゅつかん」、<ご当地おむすび>を通して、豊かな郷土色を描く「おむすびニッポン」、マニアな雑誌を通してコアな世界を紹介する「希少誌道」、大人の知的好奇心をくすぐる「あつまれ!数ぼよ。」、大人の学び直しを応援する「木村多江の、今さらですが…」、SDGs への

理解を深める「地球は放置してても育たない」、自分の感情にぴったりくる言葉をゲストと一緒に探す「言葉にできない、そんな夜。」、時代を切り開いたドラマチックな女性たちを発掘しドキュメントとドラマで描く「ヒロイン誕生！ドラマチックなオンナたち」、リモートで全国の子どもたちを結ぶ朝の会「オハ！よーいどん」、発達障害などの子が社会生活で大切なスキルを学べる「でこぼこポン！」、「NHK for School」視聴拡大のため、理科の知識でサバイバルする「漂流兄妹」、素朴な疑問を歴史資料で解き明かす「歴史デリバリー」を開発しました。

また、無駄だと思われるものに潜む意味を科学的に描く「ヴィランの言い分」、医療の専門家に旅をプロデュースしてもらう「医師が教える！極上健康旅」、五感を鍛える番組「へんテナ」、子ども向けの経済・金融番組「モノ・マネー」や幼児向けコメディ「ばくしょん！」、身近なものを使った遊びを紹介する「あそびんご」、東京のスタジオと全国の視聴者をオンラインで結ぶ新しい公開番組「テレドーム」などの開発にも取り組みました。

<定時・特集番組>

○美術・教養分野

【定時番組】

総合「日本人のおなまえ」、E テレ「日曜美術館」、「先人たちの底力知恵泉」、「SWITCH インタビュー」、「100 分 de 名著」、BSP「美の壺」(ほか、E テレ・BS4K)、「アナザーストーリーズ 運命の分岐点」は番組の質を測る MF 指標で、上位にランクインし、満足度の高さが評価されました。

【特集番組】

NHK スペシャル「疫病退散 千三百年の祈り～お水取り・東大寺修二会～」で、コロナ禍に繰り広げられた秘儀を克明に伝えました。「福島モノログ」は、URTI 第 40 回ドキュメンタリー国際グランプリで銅賞を受賞し、日本賞のファイナリストに選出され、ギャラクシー賞奨励賞も受賞しました。

BS1 スペシャル「もう一度ペットに会いたい ～世界に広がるクローンビジネス～」がギャラクシー賞テレビ部門に入賞し、「アナザーストーリーズ 運命の分岐点 『国境なき医師団は“声を上げる”』 ～人道支援という闘い～」「理想本箱 君だけのブックガイド 『もう死にたいと思った時に読む本』『同性を好きになった時に読む本』『ETV 特集 『ぼくはしんだ じぶんで しんだ 谷川俊太郎と死の絵本』『お母ちゃんと小雁 認知症の喜劇 役者 再び舞台へ』がギャラクシー賞奨励賞を受賞しました。

【8K 番組】

国宝へようこそ「山水長巻」「高野山」「唐招提寺」、8K 美の壺「松」を制作。日曜美術館では、東京国立博物館で開催された「鳥獣戯画展」の模様を 8K と E テレで同時生放送という初の試みを実施し、8K の可能性を広げました。

○趣味・実用分野

【定時番組】

「あさイチ」は、「クイズとくもり」「プレミアムトーク」など人気コーナーを継続して制作。「サラメシ」は、NHK の地域局と連携し、「きょうはまるごと鳥取県 SP」を試行的に制作し、地域

支援にもつなげました。「趣味の園芸」では、氷川きよしさんの「グリーンサムへの12か月」を制作。「すてきにハンドメイド」は、MCに佐々木希さんを招き、手芸の楽しさを伝えました。「ガールズクラフト」の後継番組「ポップイン！クラフト」では、性別によらず誰もが楽しめる番組へと視聴者層を広げました。

【特集番組】

総合では「あけましておめでとうTV」「筋肉アワー」なども制作しました。

Eテレでは「思考ガチャ！」「かわ善い民藝 いとお菓子」なども制作しました。BSPでは、「お取り寄せ不可!? 列島縦断 宝メシグランプリ 2022」「家族になろうよ」「驚き！ニッポンの底力」「大島桜のお引越し」などを制作しました。

【4K番組】

浮世絵に江戸のリアルな暮らしぶりを見る「浮世絵 EDO-LIFE」を継続。カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバルの3部門で入賞しました。国際放送向け英語版の「UKIYO-E CODE」も制作しました。

○科学・健康分野

【定時番組】

医療分野の専門性を生かし、コロナ禍で求められる様々な最新情報を発信しました。「きょうの健康」「チョイス@病気になったとき」、「クローズアップ現代」などで確かな最新情報を届けるとともに、コロナ禍での市販薬の過剰摂取の問題を提起するなど、多様な角度から新型コロナ問題に迫りました。

自然を楽しむ「なりきり！むーにゃん 生きもの学園」ではセミやツバメなど身近な自然について、子ども向け医学番組「バビブベボディ」では、自分たちのカラダを形作る臓器について、小学生たちとリモートで結び、授業の一環として学ぶ新たな取り組みを行いました。

科学の面白さを伝える「すイエんサー」でも、数々の特番を制作しました。

「コズミックフロント」などの宇宙番組をはじめ、4K・8K番組も意欲的に制作。放送はもちろん、8K ビッグデータを元に、世界の海を漂うマイクロプラスチックの分布を可視化するなど、新しい展示も試みました。

【特集番組】

「東洋医学ホントの力」では、慢性痛や心臓病、アレルギーや女性のお悩みなど、様々な問題の解決に役立つ東洋医学の最新情報をお伝えしました。

また、日本の最新の科学技術や医学情報を世界に発信する国際放送の番組も数多く制作。特に柴犬の特番「What Makes Shiba Inu Dogs So Special」は、動画公開から2週間でYouTubeの視聴回数が世界で40万回を超えました。

○教育分野

【定時番組】

1人1台端末が普及しアクティブラーニングが求められる教育現場に向けてアクティブ10「レキデリ」「プロのプロセス」「ミライのしごと一く」を制作し、「NHK for School」サイトの週間UB数を、50万前後から100万超え（2021年度平均）に引き上げることに貢献しました。

SDGsに取り組む子どもたちを「応援！みんなのチャレンジ」で紹介しました。

また、家庭や一般での「NHK for School」の視聴を広げるために、「出川哲郎のクイズ ほお〜スクール」を定時化しました。10 代向け「沼にハマってきいてみた」を制作しました。

高校講座では、“主体的・対話的で深い学び”のモデルとなる「数学Ⅰ」「科学と人間生活」「化学基礎」「美術Ⅰ」「倫理」「数学Ⅱ」を制作したほか、体育教科としては初めてのテレビ番組となる「体育実技」を開発しました。また、前年度に引き続き「カズレーザー vs. NHK 高校講座」を制作し、高校講座の認知度を拡大しました。

【特集番組】

特集では、10 代後半から 20 代前半の若者の悩みを語り合う「モンモン Z」の 2022 度定時化が決定。いじめ体験を語る国際共同制作番組「FACES」は放送文化基金賞 個人・グループ部門〔放送文化〕を受賞しました。また、家族ドキュメント番組「チョコっとのぞき見！ファミリールール」を開発し、防災番組「明日をまもるナビ」も制作しました。

コロナ禍での新しい制作手法への挑戦として、海外ロケを、出演者もスタッフもすべてヨーロッパ在住者、ディレクターやプロデューサーは日本からリモート参加で「自転車旅ユーロヴェロ 90000 キロ」ロケを実現し、4K 制作しました。

○語学分野

【定時番組】

中学校で新学習指導要領が実施されるのに合わせ、ラジオの「基礎英語系番組」の大改訂を行いました。従来の「基礎英語 0」は「小学生の基礎英語」にタイトル変更。中学生向けの「基礎英語 1・2・3」は「中学生の基礎英語レベル 1・2」に改め、中学校で学ぶ文法項目をこの 2 番組で網羅しました。さらに、「中高生の基礎英語 in English」を立ち上げ、新学習指導要領が求める“英語で英語を学ぶ”ことに応える内容としました。

大人向けの英語ラジオ講座でも、長年続いた「入門ビジネス英語」「実践ビジネス英語」の 2 番組を統合し、「ラジオビジネス英語」を立ち上げました。同番組では、ネイティブへのインタビューを学習教材にするなど、より実践的な英語力の獲得を目指しました。

Eテレでは後期に「大西泰斗の英会話☆定番レシピ」を新たに立ち上げました。テレビとラジオの連動を目指した同番組は、「ラジオ英会話」と同じ講師が担当し、内容を部分的に「ラジオ英会話」と合わせることで、学習の相乗効果を狙いました。

コロナ禍により海外ロケが出来ない中で、欧州言語の「旅するための〇〇語シリーズ」は現地リモート・ロケを効果的に使い、ヨーロッパの最新事情も交えた番組として制作しました。「テレビで中国語」では海外在住 YouTuber のレポートを導入するなど、意欲的な演出を行いました。

○子ども幼児分野

【定時番組】

「いないいないばあっ！」「おかあさんといっしょ」「みいつけた！」の 3 番組を核に、「にほんごであそぼ」「えいごであそぼ with Orton」「ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン」「ピタゴラスイッチ」「ノーゾーのひらめき工房」「ミミクリーズ」などの番組を制作しました。

【特集番組】

「いないいないばあっ！放送 25 周年」関連番組の「ワンワン 25」を制作。中止となった

「おかあさんといっしょスペシャルステージ」の代わりとなる「おかあさんといっしょ みんなとつくるコンサート!『ワンワンもおとうさんもいっしょ!』」を制作し、視聴者サービスの充実に努めました。

○番組の主な受賞歴

第 63 回 科学技術映像祭 教育・教養部門 文部科学大臣賞 受賞	「おおすみ」打ち上げ 50 周年記念 日本の宇宙開発の歩み
ヤング映像クリエイターを励ます賞 優秀賞 受賞	言葉にできない、そんな夜。第一夜。
ヤング映像クリエイターを励ます賞 優秀賞 受賞	日曜美術館 三島喜美代 命がけで遊ぶ
第 59 回 ギャラクシー賞 テレビ部門 入賞	BS1 スペシャル「もう一度ベットに会いたい ～世界に広がるクローンビジネス～」
第 59 回 ギャラクシー賞 テレビ部門 奨励賞 受賞	福島モノログ (Eテレ・日本語版)
第 59 回 ギャラクシー賞 テレビ部門 奨励賞 受賞	アナザーストーリー 運命の分岐点 「国境なき医師団は“声を上げる” ～人道支援という闘い～」
第 59 回 ギャラクシー賞 テレビ部門 奨励賞 受賞	理想本箱 君だけのブックガイド 「もう死にたいと思った時に読む本」 「同性を好きになった時に読む本」
第 59 回 ギャラクシー賞 テレビ部門 奨励賞 受賞	ETV 特集「ぼくは しんだ じぶんで しんだ 谷川俊太郎と死の絵本」
第 59 回 ギャラクシー賞 テレビ部門 奨励賞 受賞	お母ちゃんと小雁 認知症の喜劇役者 再び舞台へ
映文連アワード 2021 ソーシャル・コミュニケーション部門 優秀賞 受賞	no art, no life 令和三年 表現者たちの幻想曲
第 37 回 ATP 賞テレビグランプリ 情報・バラエティ部門 奨励賞 受賞	no art, no life 令和三年 表現者たちの幻想曲
第 40 回 ドキュメンタリー国際グランプリ (URTI) Bronze Prize(銅賞) 受賞	Fukushima Monologue (福島モノログ)
カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル 2020/ 2021 DESIGN(poster)部門 ショーリスト 入賞	浮世絵 EDO-LIFE The Hidden Essence
カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル 2020/ 2021 OUTDOOR(Media/Entertainment)部門 ショーリスト 入賞	浮世絵 EDO-LIFE The Hidden Essence
カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル 2020/2021 PRINT&PUBLISHING (Innovative Use of Print)部門 BRONZE LION 受賞	浮世絵 EDO-LIFE The Hidden Essence
第 47 回 放送文化基金賞 個人・グループ部門 〔放送文化〕	「FACES」プロジェクト
ワールドメディアフェスティバル ドキュメンタリー部門 「人権(Human Rights)」カテゴリー インターメディア・グローブ銀賞	NHK スペシャル 世界は私たちが忘れた ～追いつめられるシリア難民～
第 62 回 科学技術映像祭 研究・技術開発部門 文部科学大臣賞	NHK スペシャル 新型コロナ 全論文解説 ～AI で迫る いま知りたいこと～

<ホームページ、データ放送制作など>

語学、子ども、健康など、カテゴリー別のポータルサイトを制作し、デジタル社会の‘いつでもどこでも’の活用を応援しています。

文科省の GIGA スクール構想により、全国の小中学生ひとりひとりに学習用 PC が配布されました。この動きに対応するべく、制作をすすめてきたオンライン教材「GIGA サポ 考える授業 やるキット」を公開し、小 3 理科・小 4 理科・小 6 社会科の 50 本を、学校教育ポータルサイト「NHK for School」で提供しました。あわせて小 1・小 2 の低学年向けに、ICT スキルの基礎を楽しみながら学習することをねらったゲーム型教材「GIGA サポ いろはにひふみ」の提供をはじめました。

「新しい NHK らしさ」の柱のひとつとして打ち出された「NHK ラーニング」のサイト開発に参加するとともに、教養・美術・教育・語学の番組から 57 本のクリップ動画を納入しました。

「きょうの健康」や「チョイス@病気になったとき」をベースにした医療・健康情報ポータルサイト「NHK 健康チャンネル」では、週あたりの訪問者数が 130 万 PV に増加。信頼できる医療情報源として、放送外でも広く認知されました。

「東京 2020 パラリンピックサイト」では、競技やルール紹介に加え、パラアスリートの魅力や驚異的な身体能力を伝えるショート動画を制作、大会期間中は注目選手の情報を連日発信しました。大会期間中のサイトの訪問回数は 850 万で、リオパラリンピックの数字を大きく上まわるなど、パラスポーツの認知度アップに貢献しました。

「NHK ゴガク」はハイレベルな学習ニーズにこたえるため、「ニュースで英語術」のページに政治、経済、世界情勢などのニュース動画を掲載しました。また、アプリは、9 月にダウンロード数が 300 万を突破。1 ユーザーあたりの週次の利用回数が 8～9 回にのぼり、利用頻度の高いアプリとして定着しました。

コロナ禍での在宅学習のためのスペシャルコンテンツ「おうちで英語学習」を継続。休校対策だけでなく、自宅待機を余儀なくされた子どもたちがネットで学習できる環境を提供し続けました。

「NHK キッズ」アプリでは、新たに「ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン」の料理作りコーナーの提供を開始。利用者からリクエストの多かった「いないいないばあっ！」については、専門家の監修を得たうえで、新年度からの配信に道筋をつけました。

データ放送では、E テレ朝の幼児ゾーンで、学校でも話題にできるコンテンツを「にほんごであそぼ」「えいごであそぼ with Orton」「シャキーン！」など 7 つの定時番組で提供しました。アプリ「NHK キッズ」には、前年度から継続して番組のショート動画や遊びのヒントとなる動画を提供し、コロナ禍で自宅にいる多くの子どもたちに利用してもらいました。

番組 DVD を学校に無料で貸し出す「NHK ティーチャーズ・ライブラリー」は、修学旅行や職場体験の中止が相次ぐ中、平和教育やキャリア教育関連の番組の申し込みが増え、

昨年度同様の実績となりました。

「きょうの料理」では、番組公式 SNS がフォロワー7 万 (twitter)、友だち 60 万 (LINE) を達成しました。「趣味どきっ！」は「いまこそスマホ」が NHK プラスと連携し、登録者増につなげました。NHK for School の認知度を高める「じぶんかくどかわる」キャンペーンでも SNS を活用し多メディアで展開しました。

<日本賞>

NHK が主催する教育コンテンツの国際コンクール「日本賞」は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響を受け、前年に続き 2 回目のオンライン開催となりました。公式ウェブサイトの運営および SNS を活用した広報を引き続き受託し、オンライン・イベントへの参加を促すためのウェブサイトの改修を行うとともに、海外ユーザーのサイトへの誘導を目指した SNS 投稿を行うなど、これまでの運営の知見と機動力を活かした取り組みを進め、イベントの成功に貢献しました。

【自主事業】

当期はコンテンツ制作・販売の増加等により 34 億 16 百万円となり、前期の売上高と比較しますと、5 億 14 百万円 (17.7%) の増収となりました。

①コンテンツ制作・販売事業

ア. 市販 DVD 関連

市販 DVD は、主力の子ども幼児分野で、毎年 DVD 化されていた人気イベントなどがコロナ禍により中止になりましたが、ほかの企画 DVD・BD を制作・販売し、大幅な売上減とはなりませんでした。

「おかあさんといっしょ」の「からだ☆ダンダン」DVD・BD (企画もの) や「スタジオライブ」DVD・BD (イベント中止を受けて企画された番組の商品化) などを発売し、ファミリー層のニーズに応えました。

イ. その他のコンテンツの受注制作

美術館などで上映される展示映像制作は、今年度も 9 件と数多く受注しました。特に東京国立博物館「特別展 ポンペイ」の会場では、展覧会の導入部分に大スクリーンで 8K 映像を流すなど、映像を効果的に使った展覧会の制作に貢献しました。

「映画 おかあさんといっしょ ヘンテコ世界からの脱出！」劇場版 3 作目を公開しました。

JICA と放送大学が制作した映像教材に世界各国向けの字幕や吹き替えをつける「多言語 DVD 制作」は東南アジア 5 言語やフランス語に広げました。

国際交流基金からの依頼で、幼児 3 番組などの日本語教育用教材 DVD の制作・提供も行いました。

これらコンテンツ制作・販売事業の売上高は、8 億 3 百万円で、前期の売上高と比較し

ますと、2 億 58 百万円 (47.4%) の増収となりました。

② イベント企画・実施事業

「びじゅチューン！」関連は今年度「井上涼展」「なりきり美術館」「びじゅチューン！EXPO」と、演出も展示も異なる 3 種の展覧会を全国で展開しました。あわせて、徳島県鳴門市の大塚国際美術館、静岡県熱海市の MOA 美術館でのコンサートのほか、各地で大小のコンサートを行いました。また、新たな展開として、山陽電車ラッピング電車やスタンプラリー、スタンプブック、フォトパネルなど、姫路市の町を巡る「姫路城と初デートキャンペーン」を企画・制作しました。

「昆虫すごいぜ！×ものすごい図鑑」の世界を体験できるフロア装置を開発し、全国のイベントや NHK 各放送局の会館公開で利用できるようにしました。

これらイベント事業の売上高は、4 億 52 百万円で、前期の売上高と比較しますと、1 億 24 百万円 (38.0%) の増収となりました。

③ 印税・権利事業、国内共同制作

東京都から受託した英語教育事業「TOKYO ENGLISH CHANNEL」では、語学の専門性を駆使し、オーストラリア、ニュージーランドなどの大学の授業を東京の高校生がオンラインで学ぶ「バーチャル留学」、世界で活躍する日本人の経験談を英語で聞く「ライブトーク」、高校生が英語で未来を語り合う「高校生フォーラム」の 3 種類のオンライン・イベントを、7 つのグループが連携して実施しました。

「びじゅチューン！」では、DVDBOOK 第 6 巻を発売、DVDBOOK1-3 は VOD 化など、展開を広げています。キャラクター商品も展覧会にあわせて、新作を企画するなど、様々な商品を発売することができました。

「やまと尼寺精進日記 2・3」、「国宝へようこそ」、「東大寺お水取り」、「365 日の献立日記」など、美術教養分野で制作した番組を数多く DVD 化しました。

国際展開では、中国において「いないいないばあっ！」現地オリジナル版の制作支援を継続しました。

教養番組の書籍化も順調で「100 分 de 名著」の関連書籍 KADOKAWA 伊集院光「名著の話」は重版が決まり、「365 日の献立日記」の書籍化リトルモア「沢村貞子の献立料理・飯島奈美」は、2020 年度に続き、2021 年度も重版となりました。

「おばけの学校たんけんだん」「ドスルコスル」「はりきり体育ノ介」など学校図書館版書籍の出版にも取り組みました。

キャラクター関連では、「いないいないばあっ！」25 周年にあわせてキャンペーンを張り、店頭での販促動画を制作するなどし、コロナ禍における既存商品の売上減の抑制に取り組みました。また、ふりかけや衣装など新たに商品開発にも取り組みました。

これら印税・権利事業、国内共同制作の売上高は、7億47百万円で、前期の売上高と比較しますと、12百万円(1.7%)の増収となりました。

④ 放送大学学園など受託事業

放送大学学園からの受託業務については、「授業番組」28科目を制作しました。「生涯学習支援番組」では、「放送大学アーカイブス・知の扉」、「16番目の授業」、「続 日本の近代化を知る」、「学位記授与式」など。企画競争入札では「大統合自然史」、「現代的課題とレジリエンス」「AI基礎」「質量とは何か」を受託しました。

これら放送大学学園など受託事業の売上高は、5億88百万円で、前期の売上高と比較しますと、82百万円(16.4%)の増収となりました。

⑤ デジタル関連事業

VOD事業の売上は3億28百万円で過去最高となり、DVDの売上を初めて上回りました。主に幼児系番組のDVD原盤を提供するVOD事業では、再構成コンテンツや自主イベント収録コンテンツなどを積極的に開発しました。

また、東京大学や東北大学の「MOOC教材」や東京大学地震研の「防災教育コンテンツ」なども制作しました。

「ガンプラアカデミア」では、学校放送番組の制作ノウハウを活かし、授業案、動画教材、オンライン配信型「工場見学動画」等の授業パッケージを制作しました。

2021年度は、コロナ禍でニーズが高まったオンライン・イベントの事業化に力をいれ、教育、語学、趣味実用など各分野で実績をあげました。特に趣味実用分野では、東日本大震災10年を機にスタートさせた料理家による福島復興支援インスタライブをシリーズ化し、8回実施。復興の一助を担いました。

「100分de名著」では、4月、5月と、オンライン・イベントを開催。ZoomウェビナーでNEDの会議室と、講師の書斎をつなぐシンプルな演出で、教養番組のオンライン・イベント展開に挑戦しました。

2月には、「ふるさとの食にっぽんの食」の関連企画として、「レイチェルのオンラインクッキング」を実施。スウェーデン在住の料理家レイチェル・クーとオンラインを繋ぎ、リアルとオンラインのハイブリッド型イベントを行いました。

「ワンワンわんだーらんど☆たんけんひろば」や「すくすく子育て」のオンライン・イベントを開催するなどの新たな取り組みも行いました。

オリンピック強化指定選手とコーチ・スタッフ約6千人が使用する「JOCアスリートアプリ」の制作・運営を日本オリンピック委員会(JOC)から受託。語学学習アプリのノウハウを生かし、アスリートの品位を高める「スポーツインテグリティー」をゲーム感覚で学べるものとして開発・運用しました。

「NED デジタル基盤」を利用したビジネス展開は、運用 10 年目になりました。動画配信や認証サービスに加え、料理レシピの API データ提供などの事業に役立っています。

これらデジタル関連事業の売上高は、8 億 24 百万円で、前期の売上高と比較しますと、35 百万円 (4.6%) の増収となりました。

【業務改革・環境整備など】

社員の意識改革と固定費の削減に向けた取り組みに着手しました。プロジェクトによるオフィス改革の検討を開始し、第一共同ビルの機能を本社・第二共同ビルに吸収することとしました。

全社的な固定費の見直しに取り組むとともに、次期 ERP 導入に対応した勤務・処遇制度の見直しを進めました。

社内コミュニケーションの強化として、11 月に社内ポータルの刷新と充実を行いました。社内の情報共有やリスクの管理を向上させ、社内外の動きに対応したリアルタイム更新と内容充実に取り組みました。

Teams を活用したオンラインでの積極的なコミュニケーションを目指し、全社員参加のチーム「NED クロスコミュニティ」を設置しました。

ウィズ・コロナの対応として、リモートワークを推進し、柔軟かつ新たな働き方の定着を図りました。

2. 設備投資の状況

当期の設備投資総額は 1 億 14 百万円で、内容は以下のとおりです。

(単位: 百万円)

資産の種類	取得価額	備考
有形固定資産・工具器具備品	104	原盤、システム関連機器ほか
無形固定資産・ソフトウェア	10	社内システム機能追加ほか
有形・無形固定資産 計	114	

※金額については、単位未満を切り捨てて表示。

3. 資金調達の状況

前記の設備投資の資金は、自己資金で充当しています。

4. 対処すべき課題

NHK の「2022 年度 収支予算と事業計画」には「新しい NHK らしさ」の実現に向けたコンテンツの強化として、「青少年、子どもの教育と健全な育成」「“人生 100 年時代”の学びを支援」「持続可能な社会、多様性を認めて共に生きる社会を実現」「人にやさしい放送・サービスの推進」が掲げられています。

また、2023 年度の受信料値下げと衛星波 1 波削減に向けて、構造改革を実行し、スリムで強靱な「新しい NHK」に向けた取り組みを強化するとしています。

NED は、NHK が掲げる「新しい NHK らしさ」の実現のために、専門分野である教育や学びに関するコンテンツの強化に全力で取り組みます。いつでも、どこでも学べる「場」を提供し、広くあまねく、そして多様な方法で「学び」の機会を届け、「学びの新しいカタチ」を創ります。

番組の企画制作から展開事業までを一貫して担うことでコンテンツの価値を最大化するとともに、デジタルを大胆に活用して、教育関連事業やサービスの開発・拡充に取り組みます。多様で質の高いコンテンツを、合理的なコストで、最適な媒体を駆使して届けます。

そのために、NED が持つ多様な専門性を柔軟に組み合わせる“クロスジャンル”の発想や NHK グループ各社との連携強化による、新しいコンテンツやサービスの開発を加速します。SDGs への理解や、多様性、持続性のある豊かな社会の実現に寄与するなど、社会貢献にも努めます。

社内のみならず様々な事業者とのコラボレーションなどによって、新時代の「個別最適な学び」を支えます。オンライン・イベントを高度化、広範化し、家族や仲間などユーザー同士の交流を深める「場」を提供し、“学び”の満足度向上を目指します。

NED が保有する多様なコンテンツを、VOD などに展開し、コンテンツ価値の最大化を図ります。

これらの事業を支える人材の育成にも力を入れます。また、効果的な管理会計を導入するなど、経営資源を戦略的に配分し、創造性の最大化や、働き方改革、業務改革を遂行することで「時代の変化に、素早く、しなやかに応えられる組織」へと進化します。

5. 財産及び損益の状況の推移

項目	第 30 期 (2018 年度)	第 31 期 (2019 年度)	第 32 期 (2020 年度)	第 33 期 〔当期〕 (2021 年度)
売上高 (百万円)	25,864	25,057	22,069	21,371
経常利益 (百万円)	1,000	738	692	354
当期純利益 (百万円)	651	483	454	226
1株当たり当期純利益 (千円)	325	241	227	113
総資産 (百万円)	10,780	10,419	10,966	10,908
純資産 (百万円)	6,501	6,376	6,526	6,458
1株当たり純資産 (千円)	3,250	3,188	3,263	3,229

※金額については、単位未満を切り捨てて表示。

6. 重要な親会社の状況

(1) 親会社との関係

当社の親会社は、日本放送協会であり、当社の株式 1,340 株(出資比率 67.0%)を保有しています。

当社は、同協会の委託による放送番組の制作、これらに関連する業務、同協会が制作した番組の利用権の購入などを行っています。

(2) 親会社との間の取引に関する事項

当社は同協会との取引については、当社及び株主の利益を損なうことがないよう、同協会が定める「業務委託基準」に則り、「社会的に公正かつ妥当な」金額で実施しています。当社取締役会は、これらの取引が当社の利益を害するものではないと判断しています。

7. 主要な事業内容

- (1) 放送番組などの企画、制作、購入
- (2) ホームページ作成などデジタル関連業務
- (3) 幅広い世代を対象にした教育、教養コンテンツの制作・販売
- (4) イベント・シンポジウムなどの企画・実施
- (5) 各種権利ビジネスや編集・出版関連業務
- (6) 放送大学関連番組の制作

事業の主体を占める NHK 関係業務及び自主事業の主要なものは、次のとおりです。

【NHK 関係業務】 主な受託番組など

下線ありは新規番組

<総合>

- 日本人のおなまえ
- 平野レミの早わざレシピ
- サラメシ
- あさいチ
- 筋肉アワー～シーズン 2～
- きょうの料理
- へんてこ生物アカデミー
- 東洋医学ホントのチカラ
- 先どり きょうの健康
- NHK スペシャル「コロナ異変 新型コロナ “第4波”変異ウイルスの脅威」
- クローズアップ現代「ビッグデータで変異株に迫る」
- クローズアップ現代「あなたは大丈夫？ コロナ禍で広がる市販薬の接種過剰」
- 公共メディアキャンペーン 「災害時 健康を守る」
- 明日をまもるナビ
- 東京オリパラ・ユニバーサル放送
- 北京冬季オリパラ・ユニバーサル放送

<Eテレ>

- 日曜美術館
- 日曜美術館 アートシーン
- びじゅチューン！
- やまと尼寺 精進日記
- 先人たちの底力 知恵泉
- ふるカフェ系 ハルさんの休日
- 100分 de 名著
- NHK 短歌、NHK 俳句
- SWITCH インタビュー 達人達
- ハートネット TV
- NHK みんなの手話
- アールブリュットミニ番組「no art, no life」
- 365日の献立日記
- 美の壺
- ねこのめ美じゅつかん
- ハロー！ちびっこモンスター

- おむすびニッポン
- 思考ガチャ！
- あしたも晴れ！人生レシピ
- グレーテルのかまど
- きょうの料理
- きょうの料理ビギナーズ
- 趣味の園芸
- 趣味の園芸 やさいの時間
- 趣味どきっ！
- まる得マガジン
- ごちそんぐ DJ
- Eテレ 0655/2355
- すてきにハンドメイド
- ポップイン！クラフト
- 将棋フォーカス、囲碁フォーカス
- NHK 杯将棋トーナメント、NHK 杯囲碁トーナメント
- きょうの健康
- チョイス@病気になったとき
- すイエんサー
- なりきり！むーにゃん生きもの学園
- バビブベボディ
- ヴィランの言い分
- 出川哲朗の クイズほお〜スクール
- 応援！みんなのチャレンジ
- モンモンZ
- 沼にハマってきいてみた
- アクティブ 10 レキデリ(歴史)
- アクティブ 10 ミライのしごと一く
- アクティブ 10 プロのプロセス
- FACES〜いじめをこえて
- NHK 高校講座 化学基礎
- NHK 高校講座 科学と人間生活
- NHK 高校講座 数学 I
- NHK 高校講座 体育実技
- NHK 高校講座 美術 I
- 歴史デリバリー
- 漂流兄妹
- チョコっとのぞき見！ファミリールール
- じぶんかくどかわる

- 地球は放置しても育たない
- カズレーザーvs. NHK 高校講座
- E テレで学ぼう！
- いつでもどこでも高校講座 2022
- 木村多江の、いまさらですが・・・
- FACES 30min
- キソ英語を学んでみたら世界とつながった。
- 大西泰斗のドラマティック英会話
- 太田光のつぶやき英語
- エイゴビート／エイゴビート2
- 知りたガールと学ボーイ
- もっと伝わる！即レス英会話
- 旅するためのイタリア語・ドイツ語・フランス語・スペイン語
- テレビで中国語
- テレビでハングル講座
- ロシアゴスキー
- アラビーヤ・シャベリーヤ！
- ソーイング・ビー
- 言葉にできない、そんな夜
- BUZZ CREATORS
- いないいないばあっ！
- ワンワンわんだーらんど
- おかあさんといっしょ
- みいつけた！
- ミミクリーズ
- にほんごであそぼ
- えいごであそぼ with Orton
- コレナンデ商会
- ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン
- オトッペ
- ビットワールド
- すくすく子育て
- まいにちスクスク
- ニャンちゅう！宇宙！放送チューー！
- ノーゾーのひらめき工房
- パッコロリン
- あそびバー
- デザインあ
- てれび絵本

- シャキーン！
- ピタゴラススイッチ
- マチスコープ
- おとうさんといっしょ
- みんな DE どーもくん！
- アイラブミー
- <BS1>
- 奇跡のレッスン
- 私たちのデジタル医療革命 2022
- <BSP>
- やまと尼寺 精進日記
- 美の壺
- アナザーストーリーズ 運命の分岐点
- 行くぞ！最果て！秘境×鉄道
- ねこ育て いぬ育て
- 希少誌道
- 家族になろうよ
- 驚き！ニッポンの底力
- 浮世絵ミステリー
- コズミック フロント
- 医師が教える！極上健康旅
- ニッポン知らなかった選手権
- 10 人のお坊さん
- ブリティッシュ・ベイクオフ
- <国際>
- アールブリュットミニ番組「no art, no life」
- Science View
- Doctor's Insight
- BOSAI: Science that can Save Your Life
- Ground Detective Simon Wallis
- What Makes Shiba Inu Dogs So Special?
- FACES～いじめをこえて
- Easy Japanese for Work
- Face to Face
- Japanology Plus
- 3Days★Dare Devils
- Dining with the Chef
- Barakan Discovers:
Ainu-A New Generation
- Barakan Discovers TOHOKU

○ Activate Your Japanese!

○ PythagoraSwitch mini

<BS4K>

○ 自転車旅 ユーロヴェロ 90000 キロ

○ やまと尼寺 精進日記

○ 美の壺

○ 驚き！にっぽんの底力

○ 浮世絵ミステリー

○ バビブベボディ

○ コズミック フロント

○ おとなの神戸ハイカラ紀行

○ 10 人のお坊さん

○ 発酵大国にっぽん

○ 半分だけで考えてみた！

<BS8K>

○ 国宝へようこそ

○ 8K 生中継 おとなの神戸ハイカラ紀行

<FM>

○ 今日是一年“サッチモ”三昧

<R2>

○ カルチャーラジオ

○ 社会福祉セミナー

○ 朗読

○ 音で訪ねる ニッポン時空旅

○ 私の日本語辞典

○ 古典講読

○ ころをよむ

○ おしゃべりな古典教室

○ NHK 高校講座 数学Ⅱ

○ NHK 高校講座 倫理

○ 伝えたい私の高校生活

○ 小学生の基礎英語

○ 中学生の基礎英語レベル 1・2

○ 中高生の基礎英語 in English

○ ラジオビジネス英語

○ ラジオで！カムカムエヴリバディ

○ ステップアップハングル講座

○ ラジオ英会話

○ 英会話タイムトライアル

○ ボキャブライダー

○ 高校生からはじめる「現代英語」

○ エンジョイ・シンプル・イングリッシュ

○ 遠山顕の英会話楽習

○ ニュースで英語術

○ まいにちイタリア語

○ まいにちドイツ語

○ まいにちフランス語

○ まいにちスペイン語

○ まいにちロシア語

○ まいにち中国語

○ まいにちハングル講座

○ ステップアップ中国語

○ ポルトガル語入門・ポルトガル語
ステップアップ

○ アラビア語講座

<デジタル>

○ きょうの料理 SNS 配信

○ 料理レシピデータベース

○ NHK 健康チャンネル

○ NHK ティーチャーズ・ライブラリー

○ スタディオログ 仮説検証業務

○ ボキャブライダー

○ NHK ゴガク

○ キッズワールド

○ NHK キッズ 関連業務

○ 東京 2020 パラリンピックサイト

○ NHK for School「おうちで学ぼう！
みんなと学ぼう！」

○ NHK for School

「GIGA サポ 考える授業 やるキット」

○ NHK for School

「GIGA サポ いろはにひふみ」

○ NHK for School 関連業務

○ NHK 高校講座サイトリニューアル

○ NHK ラーニング

○ 日本賞

【自主事業】

<コンテンツ制作>

- いないないばあっ！
- おかあさんといっしょ
- みいつけた！
- えいごであそぼ等幼児向け DVD・BD
- 美術・健康・趣味・語学・学校教育 DVD、
教育 CD
- 各種教育・啓蒙映像
- 通信制高校向け教材
- スーパーハイビジョン大画面・展示映像

<イベント>

- いないないばあっ！
- おかあさんといっしょ
- その他幼児向けイベント
- 科学・実験・教育・美術・料理等
関連イベント
- 健康・医学関連イベント、シンポジウム
- 常設体験型イベント
- WEB 連動型イベント
- 遊育(あそいく)
- NHK フェスタ あそびバまなびバ
- ローズフェア with 趣味の園芸
- 健康応援フェスタ 2021

<権料・印税ほか>

- 映像ライセンス
- 出版印税
- キャラクター
- 音楽出版、
- 音源事業 など

<大学関連業務>

- 放送大学学園受託業務
- JICA(放送大学共同制作)映像教材の多言
語化 DVD
- 東京大学・東北大学 MOOC 等の
インターネットデジタル教材
- 立教大学展示館上映用コンテンツ
- インターネット配信用動画コンテンツ
- プレーズメントテスト

<デジタル関連>

- 自主 WEB・アプリ事業
みんなのきょうの料理
- 自主 WEB・アプリ事業 ゴガクル
- 自主 WEB・アプリ事業 すくコム
- 外部サイト・アプリ制作
- 英語教材作成支援システム
- 電子辞書、教育クリップ、
デジタルサイネージ
- VOD 映像提供
- 楽曲配信
- メタデータ API 事業
- 8K コンテンツビューアー・アプリ制作
- オンラインイベント

<国際展開>

- 現地版制作・展開支援(中国など)

8. 主要な事業所

本社 東京都渋谷区宇田川町7番13号 第二共同ビル

内部監査部

コンテンツ制作開発センター(美術教養、生活、科学健康、教育、語学、こども幼児、事業推進、デジタル推進、コンテンツ戦略各グループ)

経営戦略センター(総務DX、人事育成、財務、経営企画各グループ)

9. 従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
283名	1名増

<内訳>

区分	転籍者	出向者	社員	契約社員	計
男	44	79	41	7	171
女	5	41	64	2	112
計	49	120	105	9	283

10. 主要な借入先

該当事項はありません。

II 会社の株式に関する事項

1. 発行可能株式総数 8,000株
2. 発行済株式の総数 2,000株
3. 株主数 8名
4. 株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
日本放送協会	1,340株	67.0%
(株)NHK エンタープライズ	190株	9.5%
(株)NHK グローバルメディアサービス	90株	4.5%
(株)NHK プロモーション	90株	4.5%
(株)NHK アート	90株	4.5%
(株)NHK テクノロジーズ	90株	4.5%
(株)NHK 出版	90株	4.5%
(学)NHK 学園	20株	1.0%

Ⅲ 会社の役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の氏名など

地位	担当	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長		田波 宏視	(株)NHK エンタープライズ 取締役 (株)NHK 出版 取締役
専務取締役	コンテンツ制作開発センター	川野 芳水	NHK コスモメディアヨーロッパ 取締役
常務取締役	経営戦略センター	加藤 潔行	
取締役	コンテンツ制作開発センター	手島 雅彦	
取締役(非常勤)		土井 成紀	(株)NHK 出版 代表取締役社長
取締役(非常勤)		矢吹 寿秀	日本放送協会 制作局制作主幹
取締役(非常勤)		白川 友之	日本放送協会 関連事業局専任部長
監査役		板垣 雄士	板垣雄士公認会計士事務所 公認会計士
監査役(非常勤)		潮田 敦	日本放送協会 内部監査室監査部専任部長

(注) 当期の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1. 就任 2021年5月14日付で、田波宏視氏が代表取締役社長に就任しました。

2021年6月25日付で、加藤潔行氏が常務取締役に、土井成紀氏が取締役(非常勤)に、矢吹寿秀氏が取締役(非常勤)に、白川友之氏が取締役(非常勤)に就任しました。なお川野芳水氏は専務取締役に、手島雅彦氏は取締役にそれぞれ再選され、就任しました。

2. 退任 2021年5月13日付で、熊埜御堂朋子氏が代表取締役社長を、2021年6月25日付で、藤川大之氏が常務取締役に、坂上浩子氏が取締役に、青柳正規氏が取締役(非常勤)を、森永公紀氏が取締役(非常勤)を、出田恵三氏が取締役(非常勤)を、石田亮史氏が取締役(非常勤)を退任しました。

2. 取締役及び監査役に支払った報酬などの総額

役員区分	報酬の総額	報酬などの種類別の総額		対象となる役員数(人)
		定額部分	変動部分	
取締役 (社外役員を除く)	85,056 千円	59,760 千円	25,296 千円	7 人
監査役 (社外役員を除く)	—	—	—	—
社外役員	9,360 千円	9,360 千円	—	2 人

(注) 1. 当事業年度末の人員数は、取締役7名、監査役2名ですが、うち取締役3名、監査役1名は無報酬であり、上記人員には含まれておりません。

IV 業務の適正を確保するための体制

1. 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

- (1) 当社は取締役、社員を含めた行動規範として、「NED 倫理・行動憲章」と「行動指針」を定め、これらの遵守を図る。
- (2) リスクマネジメントおよびコンプライアンスを維持運営および推進するため、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置し、その下に事務局（業務相談窓口）を設置する。また、各部にリスクマネジメント推進担当者、コンプライアンス推進担当者を置き、全社的に法令遵守が確保される体制をとる。
- (3) 取締役および使用人のコンプライアンスの徹底を図るため、「コンプライアンス通報窓口（内部窓口、グループ通報窓口）」、「ハラスメント相談窓口」「ハラスメント電話相談窓口」を設置し、社内に効果的に周知し、適宜、法令等の遵守状況をモニタリングする。また、「インサイダー取引防止規程」を定め、取締役および使用人によるインサイダー取引を禁止している。
- (4) 取締役会については、「株式会社 NHK エデュケーショナル取締役会規則」を定め、その適切な運営を確保し、定例で開催するほか必要に応じて随時開催し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、法令・定款違反行為を未然に防止する。万一、取締役が他の取締役の法令・定款違反行為を発見した場合は直ちに監査役および取締役会に報告するなどして、その徹底を図る。
- (5) 執行役員については「執行役員制度規程」を遵守し、職務執行の法令・定款への適合を確保する。
- (6) 監査役は、取締役の職務執行、経営機能に対する監督強化を図る。
- (7) コンプライアンス関連の研修、社内通達等による啓発、社員総会などによる意識づけに努め、全社的な法令遵守の一層の推進を図るとともに、「稟議規程」等の適正な運用により、取締役の職務執行の透明性を確保する。

2. 取締役の職務の執行に係わる情報の保存および管理に関する体制

- (1) 「文書管理規程」により、資料等の扱いを明文化し、取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に適正を期す。
- (2) 「株主総会議事録」「取締役会議事録」「役員会議事録」については、「文書管理規程」に基づいて適切かつ確実に保存・保管し、「役員会議事録」については、取締役及び監査役が常に閲覧可能な状態に置く。
- (3) 「情報管理規程」に基づき、役員社員等が業務上取り扱う情報について、適切な管理・運用を行う。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) 当社は、当社の業務に係るリスクとして、投資的リスク、下請法等法令違反につながるリスク、企業機密への不正アクセス・漏洩等情報セキュリティ的リスクなどを認識し、信用調査、対応マニュアルなどを整備する。また、公共放送 NHK の関連団体グループの一員として、公金の扱いについては特に厳正を期し、万が一にも社会的な指弾を受けるこ

とのないよう注意を払う。

- (2) リスクマネジメント推進責任者を代表取締役社長とし、リスク管理体制の整備・運用にあたる。
- (3) 内部監査部を設置し、各部門のリスク管理状況を監査し、定期的に取り締役会および監査役に報告する。
- (4) 危機管理と予防的管理についての体制を充実し、研修などを含め、損失の危険の管理について全社的な認識向上を図る。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 職務分掌に関する諸規程を定め、取締役および各部門の所管と権限を明確にし、経営に関する意思決定および職務遂行を効率的かつ適正に行う。
- (2) 重要な意思決定については、常勤取締役等による役員会などにより多面的に検討し、慎重に決定する仕組みを設ける。
- (3) 中期経営計画およびそれを受けた年度事業計画を策定し、事業ごとの目標値を設定し、業績を把握し、適宜見直しを行う。
- (4) さらに効率的に職務を執行するために、内部統制との関係を考慮しつつ、案件に応じた職務権限の委譲を検討する。

5. 会社並びにその親会社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 当社の親会社にあたる NHK の子会社等の事業が適切に行われることを目的として、「関連団体運営基準」により、事業運営およびこれに対する NHK の指導・監督等に関する基本的事項が定められており、当社も該当している。
- (2) NHK は、「関連団体運営基準」に関する事項および NHK が指定する事項について、監査法人等に委嘱して関連団体の業務監査を実施し、監査法人等の報告に基づき、関連団体に対し必要な指導・監督を行っており、当社も該当している。
- (3) NHK の監査委員が当社に対し営業の報告を求め、または業務および財産の状況を調査する場合には、当社は、適切な対応を行う。
- (4) NHK は、全国民の基盤に立つ公共放送の機関として、不偏不党の立場を守って、放送による言論と表現の自由を確保し、豊かで、良い放送を行うことを目的とした法人である。また、放送法により、NHK に対する公共的規制は、国民の代表である国会を中心として行われ、毎年度の予算・事業計画は国会での承認を要している。NHK には、経営方針その他その業務の運営に関する重要事項を決定する権限と責任を有する経営委員会が設置され、会長等による業務の執行と監督の機能が明確に分離され、適正なガバナンスが確保されており、業務の実施にあたっては、「NHK 倫理・行動憲章」の策定、「通報・相談窓口」の整備などにより、適正が確保されていると理解している。

6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

- (1) 監査役からの求めがあった場合には、監査役の職務を補助すべき使用人として、当社社員から監査役補助者を任命する。
 - (2) 監査役の職務を補助する部署を経営戦略センターとする。
 - (3) 監査役より監査業務に必要な命令を受けた経営戦略センター社員は、その命令に関して、取締役、経営戦略センター統括部長等の指揮命令をうけない。
7. 取締役および使用人が監査役に報告をするための体制および報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
- (1) 取締役または使用人は、法定の事項に加え、当社に重大な影響を及ぼす事項の内容を、監査役にそのつど報告するものとする。
 - (2) 監査役は、いつでも必要に応じて、取締役および使用人に対して報告を求めることができる。
 - (3) 当社は、監査役に報告をした者に対して、その報告を行ったことを理由として不利益な取扱いを行うことを禁止する。
8. 監査役職務の執行について生ずる費用の前払い等に係わる方針に関する事項、およびその他監査役職務の執行が実効的に行われることを確保するための体制
- (1) 監査役からその職務の執行について生ずる費用の前払い、負担した債務の弁済等の請求があったときは、当該請求に係わる費用または債務が、監査役職務の執行に必要な場合を除き、当該費用または債務を処理する。
 - (2) 監査役は、重要な会議に出席するとともに、議事録が作成された場合は、その事務局はこれを監査役に送付する。
 - (3) 内部監査部の行う監査の結果とその改善状況は、監査役にも報告されるものとし、監査役と内部監査部の間で定期的な情報交換を行う。

【業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要】

当社の取締役会は、取締役 7 名（うち、非常勤取締役 3 名）で構成されており、2 名の監査役（うち、非常勤監査役 1 名）も出席し、業務執行状況の報告が行われるとともに重要事項の審議・決議を行っています。

また、常勤監査役は、取締役会のほか役員会等の社内の重要会議に出席するとともに、資料の査閲、取締役からの直接聴取を行い、業務執行の状況や内部統制、コンプライアンスに関する問題点を監視する体制を整備しており、経営監視機能の強化および向上を図っています。

コンプライアンスに関する取り組みの状況では、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を毎月開催し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する報告や決定を行っています。

また、「NED リスクマネジメントハンドブック」を社内ポータルに掲載し、随時更新を行っています。全社員等を対象とした研修活動も定期的実施しコンプライアンスの周知徹底を図っています。当社の内部監査部門では、年度ごとの内部監査計画に基づき業務の点検と提言を行っています。

【業務の適正を確保するための体制の評価】

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「IT への対応」という 6 つの観点から評価し、整備状況および運用状況の有効性を確かめました。

また、業務上の重要なリスクを分析・抽出した上で、各部門を対象とする業務プロセス監査や、全社を対象とするテーマ監査、フォローアップ監査などを行い、必要な対応（内部統制）が取られているかどうかを確かめました。

その結果、2022 年 3 月 31 日時点における当社の内部統制は、おおむね有効であると判断しました。

第33期計算書類

〔 自 2021年 4月 1日 〕
〔 至 2022年 3月 31日 〕

株式会社NHKエデュケーショナル

貸借対照表

〔2022年3月31日現在〕

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	8,644,863	流動負債	3,835,467
現金及び預金	3,363,356	買掛金	3,171,925
売掛金	4,513,603	未払金	162,766
有価証券	100,000	未払費用	48,550
制作勘定	449,784	未払法人税等	100
貯蔵品	872	未払事業所税	12,215
前払費用	74,099	未払消費税等	7,262
その他	143,146	前受金	4,550
固定資産	2,263,357	預り金	52,794
有形固定資産	221,794	賞与引当金	375,304
建物	104,400	固定負債	614,495
工具器具備品	116,150	退職給付引当金	577,567
土地	1,244	長期未払金	36,928
無形固定資産	111,484	負債合計	4,449,963
ソフトウェア	101,696	(純資産の部)	
商標権	4,423	株主資本	6,451,701
電話加入権	3,364	資本金	100,000
その他	2,000	利益剰余金	6,351,701
投資その他の資産	1,930,078	利益準備金	25,000
投資有価証券	718,793	その他利益剰余金	6,326,701
出資金	18,668	事業維持積立金	5,599,000
差入保証金	357,481	次世代社内システム等整備積立金	500,000
保険料積立資産	262,097	繰越利益剰余金	227,701
繰延税金資産	543,604	評価・換算差額等	6,556
その他	37,372	その他有価証券評価差額金	6,556
貸倒引当金	△ 7,940	純資産合計	6,458,258
資産合計	10,908,221	負債・純資産合計	10,908,221

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 自 2021年4月 1日
至 2022年3月 31日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		21,371,689
売 上 原 価		19,919,111
売 上 総 利 益		1,452,578
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,269,978
営 業 利 益		182,599
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	540	
受 取 配 当 金	37,442	
組 合 等 出 資 利 益	93	
雑 収 入	135,400	173,477
営 業 外 費 用		
為 替 差 損	1,244	
雑 損 失	66	1,310
経 常 利 益		354,766
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	6,600	6,600
税 引 前 当 期 純 利 益		348,166
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	80,617	
法 人 税 等 調 整 額	40,652	121,270
当 期 純 利 益		226,896

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 自 2021年4月1日 〕
〔 至 2022年3月31日 〕

(単位：千円)

	株 主 資 本							
	資本金	利 益 剰 余 金					利 益 剰 余 金 合 計	株主資本 合 計
		利 益 準 備 金	その他利益剰余金			利 益 剰 余 金 合 計		
			事業維持 積立金	次世代社内シス テム等整備積立金	繰越利益 剰余金			
当 期 首 残 高	100,000	25,000	4,881,000	500,000	1,019,805	6,425,805	6,525,805	
当 期 変 動 額								
事業維持積立金の積立			718,000		△ 718,000	-	-	
剰余金の配当					△ 301,000	△ 301,000	△ 301,000	
当 期 純 利 益					226,896	226,896	226,896	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当 期 変 動 額 合 計	-	-	718,000	-	△ 792,103	△ 74,103	△ 74,103	
当 期 末 残 高	100,000	25,000	5,599,000	500,000	227,701	6,351,701	6,451,701	

	評価・換算 差 額 等	純 資 産 合 計
	その他有 価証券評 価差額金	
当 期 首 残 高	745	6,526,550
当 期 変 動 額		
事業維持積立金の積立		-
剰余金の配当		△ 301,000
当 期 純 利 益		226,896
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	5,811	5,811
当 期 変 動 額 合 計	5,811	△ 68,291
当 期 末 残 高	6,556	6,458,258

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております

個別注記表

〔 自 2021年4月1日
至 2022年3月31日 〕

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

満期保有目的の債券 …………… 償却原価法(定額法)

その他有価証券(市場価格のない株式等) …… 総平均法による原価法

②たな卸資産

制作勘定 …………… 個別法に基づく原価法
(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております)

貯蔵品 …………… 個別法に基づく原価法
(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております)

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く) …… 定率法

ただし、建物(附属設備を除く)及び2016年4月1日以降取得の建物附属設備は、定額法を採用しております。

②無形固定資産(リース資産を除く) …… 定額法

なお、自社利用のソフトウェアは、利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当期に対応する金額を計上しております。

③退職給付引当金

従業員に対する退職金の支給に充てるため、自己都合による退職金の期末要支給相当額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日)を適用しており、顧客との契約について、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：取引価格を契約における各履行義務に配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時点で(または充足するに応じて)収益を認識する。

当社における主たる履行義務は、以下の通りです。

①番組制作

当社は、教育・教養番組の開発、企画、制作業務等を受託しております。

番組制作について、主に制作物の納品または役務の提供により当社の履行義務が充足されることから、当該履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

②コンテンツ制作

当社は、教育・教養分野のコンテンツの制作・販売を行っております。

これらの制作・販売については、契約内容に応じ、約束した商品を顧客に移転することによって履行義務を充足した時に認識しております。なお、国内における映像ソフト販売については、出荷時から商品の支配が顧客に移転される時までの期間は通常の期間に収まることから、出荷時点で収益を認識しております。

③権利ビジネス

当社は、番組やキャラクターに関する著作権管理、許諾を行っております。

当社における主なライセンスである番組やキャラクターに関する権利については、通常、顧客に供与した後に当社が知的財産の形態又は機能性を変化させる活動、又はライセンス期間にわたって知的財産の価値を維持するための活動を実施する義務を負わず、上記のいずれの要件も満たさないため、使用权として一時点で売上収益を認識しております。

収益のうち、対価を固定対価で受領しているものについては、ライセンス許諾開始日に収益を認識しております。対価が、売上高又は使用量に基づき算定されるものについては、原則として、顧客が売上高を計上する時又はライセンスを使用する時点、又は履行義務が充足される時点のいずれか遅い時点で収益を認識しております。

権利ビジネスに関する取引は、財又はサービスの提供に当社と顧客以外の当事者が関与している場合があります。当該取引に関しては、当社が当事者として取引を行っているか、代理人として取引を行っているかの判定を行い、本人としての性質が強いと判断しております。そのため、顧客から受け取る対価の総額で収益を表示しております。

④イベント企画・運営

当社は、イベントやシンポジウムなどの企画・運営を行っております。

イベント等の企画・運營業務に関しては、役務の提供により当社履行義務が充足されることから、当該履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 会計方針の変更に関する注記

収益認識に関する会計基準の適用

収益認識会計基準等を当事業年度の期首から適用しております。

この結果、当事業年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

3. 収益認識に関する注記

「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記 (4)収益及び費用の計上基準」に同様の内容を記載しているため、注記を省略しています。

4. 表示方法の変更

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。)等を当事業年度の年度末に係る計算書類から適用し、「9. 金融商品に関する注記 (2) 金融商品の時価等に関する事項」を記載しております。

5. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	3, 024, 453千円
(2) 関係会社に対する金銭債権債務	
①短期金銭債権	3, 275, 471千円
②短期金銭債務	565, 162千円

6. 損益計算書に関する注記

関係会社との営業取引高	売上高	17, 980, 482千円
	仕入高	517, 280千円

7. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

発行済株式	普通株式	2,000株
-------	------	--------

(2) 事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

2021年6月25日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しています。

普通株式の配当に関する事項

①配当金の総額	301,000,000円
②1株当たり配当額	150,500円
③基準日	2021年3月31日
④効力発生日	2021年6月28日

(3) 事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

2022年6月24日開催予定の定時株主総会において、次のとおり付議する予定です。

普通株式の配当に関する事項

①配当金の総額	163,000,000円
②配当の原資	利益剰余金
③1株当たり配当額	81,500円
④基準日	2022年3月31日
⑤効力発生日	2022年6月27日

8. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

番組等利用権の償却超過額	1 1 5, 4 3 3 千円
賞与引当金	1 2 9, 8 1 7 千円
退職給付引当金	1 9 9, 7 8 0 千円
その他	1 0 4, 4 0 4 千円
繰延税金資産小計	5 4 9, 4 3 6 千円
評価性引当額	△ 5, 8 3 1 千円
繰延税金資産合計	5 4 3, 6 0 4 千円

9. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

資金運用については安全性の高い預金等に限定し、資金調達については自己資金により充当しています。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、取引先ごとに与信管理を徹底し、回収期日や残高を定期的に管理することで、リスク低減を図っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日(当期の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1)現金及び預金	3,363,356	3,363,356	-
(2)売掛金	4,513,603	4,513,603	-
(3)有価証券及び 投資有価証券	600,000	599,973	△26
(4)差入保証金	357,481	345,237	△12,244
(5)買掛金	(3,171,925)	(3,171,925)	-

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1)現金及び預金、並びに(2)売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)有価証券及び投資有価証券

時価については、取引先金融機関より提示された価格によっております。

(4)差入保証金

差入保証金については、元利金の合計額を、契約期間に応じた国債の利回り等適切な指標で割り引く方法により算定しております。

(5)買掛金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 非上場株式(貸借対照表計上額218,793千円)は、市場価格のない株式等であるため、前記の表には含めておりません。

10. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 取引内容

(単位：千円)

属性	氏名・名称	議決権の 所有(被所有) 割合	関係内容	取引内容	取引額	期末残高
親会社	日本放送協会	被所有 直接 67.0%	番組制作業務の受託等 番組の二次使用料等	番組制作業務の受託等 番組の二次使用料等	売上高 17,980,482 仕入高 517,280	売掛金 3,275,471 買掛金・未払金 565,162
親会社の子会社	株式会社 NHKエンタープライズ	所有 直接 2.5% 被所有 直接 9.5%	映像商品の販売等	映像商品の販売等	売上高 788,846	売掛金 271,569
親会社の子会社	株式会社 NHKテクノロジー	所有 直接 2.0% 被所有 直接 4.5%	番組制作技術業務の発注等	番組制作技術業務の発注等	仕入高 1,493,880	買掛金・未払金 306,227
親会社の子会社	株式会社 NHKビジネスクリエイト	所有 直接 1.5%	不動産の賃借等	不動産の賃借等	賃借料 426,419	前払費用 39,968 差入保証金 351,123
親会社の子会社	株式会社 NHKアート	所有 直接 3.8% 被所有 直接 4.5%	イベント関連業務 番組制作美術業務の発注等	イベント関連業務 番組制作美術業務の発注等	仕入高 708,626	買掛金・未払金 128,329

(2) 取引条件及び取引条件の決定方針

親会社である日本放送協会からの受託業務については、同協会が定める「業務委託基準」に則り、「社会的に公正かつ妥当な」金額で実施しております。また、その他の番組制作関係の受注、発注及び不動産の賃借等につきましては、一般の取引条件と同様に決定しております。

11. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 3,229,129円18銭

(2) 1株当たり当期純利益 113,448円19銭

12. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

2022年5月24日

株式会社NHKエデュケーショナル
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 伊澤賢司
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、株式会社NHKエデュケーショナルの2021年4月1日から2022年3月31日までの第33期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書(以下「計算書類等」という。)について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、会社計算規則及び我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類等に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、会社計算規則及び我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、会社計算規則及び我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、会社計算規則及び我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

私たち監査役は、2021年4月1日から2022年3月31日までの第33期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、監査方針等に従い、取締役、内部監査部その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

- ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社等において業務及び財産の状況を調査いたしました。
- ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
- ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

- ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2022年5月25日

株式会社NHKエデュケーショナル

監査役 板垣 雄士 ⑩

監査役 潮田 敦 ⑩